

令和3年度 第1回 手上げ型交付金事業 最終審査結果表

No.	要望額	減額	採択額	事業名	組織名	事業概要	採択
1	2,000千円	0千円	2,000千円	とのエンジン！【新鮮の継承】	かりとりもさくの会	100年後も渡江地区が存在する、渡江地区がシビックプライドを取り戻すことを目的に、ふるさと納税に引き続き参加し、地域PRや特産品販売で学生組織と連携する。また、学生の活動拠点整備としての空き家整備や、高齢者のスマートフォン有効活用を目的として学生が講師のスマホ教室を定期的に開催する。	○
2	2,000千円	270千円	1,730千円	新狩江地域づくり活動センター事業【REVIVAL】	かりとりもさくの会	地域づくり活動センター化に向けて、狩江地区の組織再編と地域分析ワークショップの開催し、地域課題解決と人財発掘と人財育成を行う。また、段々畑ガイドの養成や石垣修繕の次世代継承といった地域資源の活用と保存を目的とした事業や、移住者獲得の種まきとして修学旅行生の受入を実施する。	○
3	2,000千円	2,000千円	0千円	かりエンジョイ～田舎で過ごす時間～	かりとりもさくの会	関係人口の構築及び人口減少対策として、移住希望者や田舎体験者の宿泊場所確保の課題解決を目指し、移住&田舎体験施設の整備と「かりえ笑学校」を利活用したワーケーション希望者の拠点整備を行う。また、県と連携し、田舎体験しながら仕事可能なモデルツアーを実施する。	×
4	2,000千円	2,000千円	0千円	溪筋全集中 水の呼吸 441の型『清流』	溪筋地域づくり検討委員会	溪筋水辺公園内敷地を活用したキャンプ事業を実施する。クロッカー場跡地をキャンプ場として利活用できるように整備する。また、溪筋の自然や食材などの地域資源を魅力として付加価値化し、グランピング事業のようなサービスや体験プログラムを計画し実行することで、収益事業に展開することを目標とする。	×
5	1,770千円	0千円	1,770千円	高山地区景観調査事業	高山・宮野浦地域づくり協議会	石灰業で栄えた高山地区の姿を次世代に繋ぐとともに、今後の地域づくりに活用するため地域の景観構成を明らかにする。啓発普及事業として、調査報告書の印刷（概要版の印刷も含む）・灰屋いも実演販売・高山地区ガイド事業等を実施する。地域資源の価値に気づき、付加価値を見いだすことで地域への自信や郷土愛を生み出し地域を元気にする。	○
6	913千円	0千円	913千円	共に集う地域交流プロジェクト	石城ロマンの里応援隊	「れんげ」・「わらぐろ」関係事業、地域行事として定着しつつある「どんど焼き」や「わらぐろイルミネーション」等は初年度に続いて継続する。今年度はそれらに加えて、サイクリングや地区内外からの参加者を募ったウォーキングイベントなど新しい試みにもチャレンジする。石城の豊富な地域資源を見直し、再認識することで地域づくりへの意識向上を目指す。	○
7	2,000千円	1,211千円	789千円	産地パワーアップ事業2021～YOKOBAYASHI 霧源～	横林自治振興協議会	これまで2年間の産地パワーアップ事業（地域ブランディング）を踏まえて、特産品である椎茸の種類それぞれにパッケージを作成し、生産者の想いを消費者へ伝えるコミュニケーションツールをデザインする。椎茸レシピの開発や活用方法の提案、ふれあいショップを拠点とした販売体制を構築していく。	○

令和3年度 第1回 手上げ型交付金事業 最終審査結果表

No.	要望額	減額	採択額	事業名	組織名	事業概要	採択
8	2,000千円	0千円	2,000千円	招くネコの手プロジェクト	横林自治振興協議会	人口減少に起因する農業の担い手不足や集落の自治機能の低下等、地域の活力が失われつつある中、持続可能な地域運営を目指すには定住や関係人口の増加、時代に即した体制づくりといった施策が不可欠である。横林地域の記憶と風景を紡ぐ映像制作やコミュニティスペースの創出等を通じて、地域の魅力再発見や交流事業、ファンづくり、関係人口づくり事業を実施することで持続可能な地域づくりを目指す。	○
9	878千円	0千円	878千円	災害に備える地域づくり	遊子川地域活性化プロジェクトチーム	遊子川地域は、大規模災害発生時に通信手段の断線により連絡が取れなくなることが懸念されている。そこで、各集落へ無線機を配備し、通信訓練等を行う。災害発生時においても情報伝達が行える体制を整えることで、各集落において、自助・共助意識の向上を図ることで災害に備える地域を目指す。	○
10	2,000千円	0千円	2,000千円	めざせジオサイト！鍾乳洞と化石の神秘に迫る vol.1	蔵小校区ふるさと振興会	蔵貫白石鍾乳洞をはじめとした、地域資源をまるごと自然公園と捉え、有機的に活用することで、地域の自然環境を維持・保全しながら、多くの人に地域の自然をまるごと味わって楽しんでもらう。鍾乳洞の調査や照明や危険箇所等の点検整備といった安全対策、盗掘対策として防犯対策を行う。また、ジオサイトの認定を目指す。	○
11	1,450千円	0千円	1,450千円	にきぶ地域防災計画作成事業	にきぶ地域づくり会	2年間の事業実施を踏まえ、安全な避難訓練のあり方と避難場所運営マニュアルの作成に焦点をあて、通常の避難訓練と避難所の運営訓練等を通じて、更なる地域防災力の向上と円滑な避難所運営によって、発災時犠牲者“0”を地域で目指す。避難所の運営ルール作りと地域防災計画の改訂にも取り組み、災害に対する意識向上と共に災害に強い地域を目指す。	○
12	2,000千円	2,000千円	0千円	田舎での交流の新しい様式「タノスジスタイル」構築プロジェクト	田之筋地区地域づくり協議会	交流人口の増加を目指して、これまでに組成した地域の魅力コンテンツに加えて、田之筋地域だけしか味わえない更なる魅力を、肌で体感して交流を深めてもらう。空き家・空き地を活用した交流拠点整備と地域活性化の勉強会やフィールドワークの実施、スマートBBQを軸とした交流・体験イベントを開催することで、田之筋地区特有の新たな交流の様式を作り上げる。	×
13	1,829千円	0千円	1,829千円	下宇和地域の竹林再生及び循環型農業の確立	下宇和地域づくり協議会	これまで2年間実施した竹パウダーの有効活用に加えて、竹パウダーに加工出来ない古い竹を有効活用する。竹炭と竹の灰から作った洗剤を作り販売することで事業継続ができるよう独立採算の道筋をつけ、持続可能な取組へつなげていく。	○
14	2,000千円	2,000千円	0千円	野村高校革命～のむLOVEレボリューション21～	野村地域自治振興協議会	市内の県立高校の進学者数が減少による学校存続の危機感があるなか、生徒が中心となり、高校魅力化につながる事業を展開する。若者に人気の「eスポーツ」の普及と部活動への定着、そして高校の魅力を発信するため短編動画を製作し、市内高校への進学者数の増加を目指す。	×

令和3年度 第1回 手上げ型交付金事業 最終審査結果表

No.	要望額	減額	採択額	事業名	組織名	事業概要	採択
15	1,080千円	0千円	1,080千円	酒文化の継承と活用	野村地域自治振興協議会	これまでの2年間実施した酒文化の地域定着と情報発信、緒方らぼの開催、のむむらのむら屋台村の開催等の事業に加えて、コラボする大阪大学との「酒造り事業」、「南予きずな博（がいなんよ大学inのむら）での酒文化の情報発信を行うことで、観光振興・人材育成・多様な地域づくりへと展開していく。	○
合計	25,920千円	9,481千円	16,439千円				